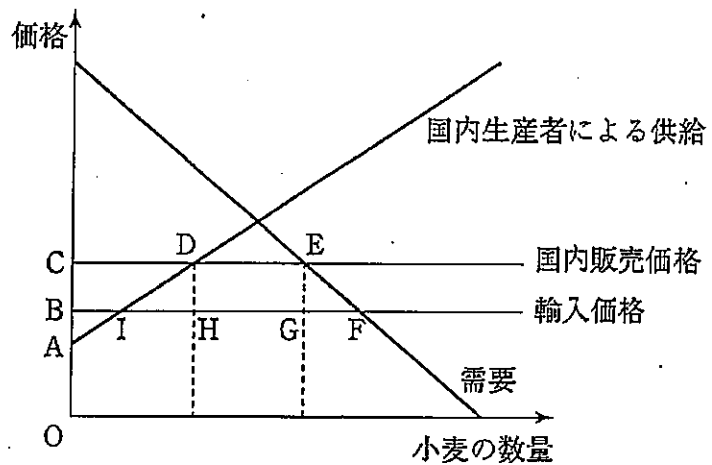


地方交付税に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 地方交付税制度は、国から地方への財政移転で国庫支出金とともに重要なものであり、地方税総額の一定割合を裕福な地方公共団体から財政力の弱い地方公共団体に配分する仕組みである。
2. 普通交付税は、それぞれの地方公共団体の合理的かつ妥当な行政水準を確保することを目的として算定される基準財政需要額に比例して配分される。
3. 地方交付税の財源である地方税総額と必要額である基準財政需要額が一致する保証はないため、毎年の予算編成において両者が一致するように、必要な調整が行われる。
4. 地方交付税には、税源の偏在からくる地方公共団体間の財政力格差を調整する機能や財政力の弱い地方公共団体に必要な財源を保障する機能がある。
5. 基準財政収入額が基準財政需要額よりも大きい地方公共団体は、その超過額を国に納付しなければならない。

ある国の政府は、小麦を海外から無関税で輸入し、輸入価格に一定の金額を上乗せして国内販売している。その差益は国内小麦生産者への所得補償にあてられている。輸入業者が直接海外から小麦を輸入する場合には、高率の関税が課されるため、小麦輸入は事実上、国による独占貿易である。こうした輸入制限が撤廃された場合の国内小麦市場への効果を図にしたがって考えた次の文中のア～エに入るものがいずれも妥当なのはどれか。



輸入制限が撤廃されると、消費者余剰は だけ増加し、生産者余剰は だけ減少し、国内小麦生産者への所得補償は だけ減少する。その結果、社会的余剰は する。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|----|------|------|------|----|
| 1. | CEFB | CDIB | DEGH | 増加 |
| 2. | CEFB | DHI | EFG | 増加 |
| 3. | DHI | CDHB | DEGH | 減少 |
| 4. | DHI | EFG | CEFB | 減少 |
| 5. | EFG | DHI | CEFB | 減少 |

正答 1